赤い電車を利用しよう！

3月に開催された名鉄西尾・蒲郡線対策協議会総会において、名鉄西尾・蒲郡線の3年間の存続が決定しました。今号では、名鉄西尾・蒲郡線の現状と、さらなる存続に向けた取り組みについてご紹介します。

企画広報課 ☎66◆1162

名鉄はこれからどうなるの？

名鉄西尾・蒲郡線は、今後3年間（平成25年4月1日～平成28年3月31日）存続します。しかし、依然として赤字路線のため、名鉄に対し年間2億5,000万円を蒲郡と西尾の両市で負担します。
（蒲郡市：99,313,000円、西尾市：150,687,000円）

一方で、利用者の少ない現状から、このままでは大量輸送機関としての使命を果たせないため、3年後に存続の危機に陥る可能性があります。

名鉄がなくなっちゃうとどうなるの？

名鉄西尾・蒲郡線が廃線となってしまうと、単に電車がなくなってしまうだけでなく、次のような影響も予想されます。

○中学生の進路に影響が出る　○高齢者の方々が利用する交通手段の選択肢が減る
○交通渋滞が頻繁に起こる　○名鉄沿線地域が衰退する　など

存続のためにみんなで取り組みましょう！

名鉄西尾・蒲郡線存続のため、市民、学校・企業、市が取り組むべき活動の例をあげます。

利用促進

市　民
- 通勤、通学に定期券を利用する
- 車の利用を控え、名鉄を利用する

学校・企業
- 遠足などの行事で利用する
- 部活動などの交流で利用する
- 名鉄利用者に特典のある企画を行う

市
- 利用者増加につながる事業を行う
- 沿線の観光資源を活用したイベントを行う
- 市民応援団、学校・企業の活動に支援をする

市全体で名鉄を存続させよう

名鉄西尾・蒲郡線の存続は、沿線地域の問題だけでなく市全体の問題です。特に近年では、蒲郡線（吉良吉田駅から蒲郡駅の区間）の利用者が減少しています。

市としても今後は、より蒲郡線の利用者増加に向けて力を入れていきます。市民の皆さんも積極的に名鉄を利用し、大切な名鉄西尾・蒲郡線をいつまでも存続させていきましょう！

乗って残そう！名鉄西尾・蒲郡線！